様式２

現　場　実　習　の　状　況

※現場実習毎に本様式に記入して下さい

（春、秋に一度ずつ現場実習を行っている方の場合は、本様式を２枚記入して下さい）。

※学校・施設独自の様式にまとめている場合には、本様式の参考資料として、独自様式を添付して頂いても結構です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 記入年月日 | 年　　月　　日 | 記入者氏名 | （本人との関係：　　　　　　　　　　） |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ  氏　　名 | | 男　・　女 | | | |
| 実施期間 | | 年　　　月　　　日　～　　　　年　　　　月　　　　日（　　　　　日間） | | | |
| 作業時間 | | 時　　分　～　　　時　　分 | 通勤方法  （時間） | （自宅より　　　　分） | |
| 事業所名 | |  | 事業内容 |  | |
| 作業内容 | |  | | | |
| ≪事業所の評価≫ | | | | | |
| ≪学校・施設の評価≫ | | | | | |
| ≪就職を考える際に本人のセールスポイントとして特記すべき事項≫ | | | | | |
| ≪就職を考える際に不安な点や事業所に配慮してほしい特記事項≫ | | | | | |
| 《該当する項目があれば印をつけて下さい》  　□無断欠勤や遅刻があった。　　　　□指示がないと、作業開始時に作業場に戻れないことがあった。  　□人がついて指示をしないと、作業に陰日向があった。  □危険に対する認識が不十分で、危険回避がとれなかった。  　□適切な挨拶をするには、指示が必要であった。  　□ミスが分かっても報告しないことがあった（指導者が声かけ・確認を行う必要があった）。  　□作業終了の報告をしないことがあった（指導者が声かけ・確認を行う必要があった）。  　□指導者の注意や指示に対して拒否的な態度をとることがあった。  　□体力不足により、休憩時間をとる必要があった。  　□部品や道具の取り扱い等、作業が雑で、指導者の指示が必要であった。  　□道具や材料の用意、準備、収納、作業終了後の清掃などには指導者の指示が必要であった。 | | | |